

学生新聞

放送大学
 埼玉学習センター
 埼玉CSC交流会
 学生新聞
 編集委員会
 〒330-0853
 さいたま市大宮区
 錦町682-2
 TEL048-650-2611

2019年度の学生研修旅行 千葉県君津市の日本製鉄へ

人類と「鉄」との関わりを考えた旅

11月最初の金曜日となる1日に、今年の学生研修旅行が催された。

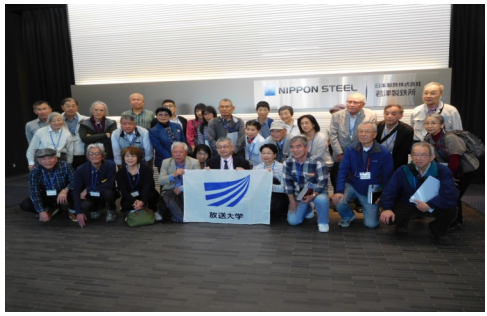
行き先は、9月の台風15号により甚大な被害を受けた千葉県君津市にある日本製鉄である。9月の台風被害では、溶鉱炉などが大きな被害を受けて、年内いっぱい稼働ができないというニュースもあり、研修旅行の実施ができるのかどうかを心配する声もあったが、無事に行くことができた。

当日は、曇り時々快晴で、雨続きだった9月、10月を過ごした後は、一層爽やかさを感じる好天となった。

翌日からの3連休の影響で、雨続きだった9月、10月を過ごした後は、一層爽やかさを感じる好天となった。



海ほたる展望デッキから千葉県方面を望む



日本製鉄玄関ロビーにて

響か、途中の高速道路ではひどい渋滞に巻き込まれたが、アクアラインを走って、なんと30分遅れで海ほたるに到着した。海ほたるは、平日にもか

かわらず、家族連れや観光バスなどの乗客で込み合っていた。放送大学の学生たちも、三々五々、海ほたるの4階と5階にあるレストラン街で、この場所ではなければ食べられない昼食を探し、ランチを楽しんだ。

その後は、展望デッキのぼり、全員で記念撮影をした。30分遅れでの到着になったために、残念ながらも、世界から見た日本”についても注目したいと思っています。

ただ、オリンピック開会後の交通の混雑・混乱等が予測できないという点で、2020年度第1学期の単位認定試験の日程がタイトになっているのが心配です。大学と学部との試験を同日に行いますので、両方の学籍をお持ちの学

生の方は特に「ご注意ください。なお、文部科学省からの通達があったため、都内を中心として多くのテレビ観戦だけでなく、最大の祭典を楽しむとともに、世界から見た日本”についても注目したいと思っています。

鉄は高い強度と磁性を備えていることで、建物や橋、船、鉄道、そして様々な種類の車など、身の回りのあらゆる場所で使われている。

確かに、鉄と鉄を扱う技術が人間社会を進展させてきており、経済や産業の発展には、鉄が重要な役割を果たしてきている。産業革命は鉄の特性を活かした機械による効率化によって成立した。

また、農機具や武器の製造に鉄を利用することで、文明の維持や拡大が図られてきた。人類の進歩には、鉄の有効利用が重要な役割を果たしてきたのである。

通常はあまり身近でありませんが、今までは改めて考えることもなかった「鉄」という金属が、人間にとっていかに掛かっているのかと心配させられた有意義な研修旅行だった。

（冬木）

（冬木）

（冬木）

（冬木）

新年が近づいてきました。令和になって初めての年明けです。いつもとは違う雰囲気があるような気がします。

また、来年は東京オリンピック・パラリンピックの年です。小生は前回の東京オリンピックのとき、兵庫県神戸市在住の小学生でした。昨今のは記憶もあいまいで比較できません。それで

も、聖火リレーが通る日は学校が午前で終了した（残念ながら雨天のため折角見に行ったのに車が通るのを眺めただけで）が、小学校の講堂の四隅にテレビが持ち込まれ各クラス交代で視聴したりしました。自分のクラスの割り当てのときはあまり興味を引かない競技ばかりだった記憶だけが残っています。

放送大学のスケジュールでは、オリンピック開会式の前日が単位認定試験の最終日です。前日では、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。前日では、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。

放送大学のスケジュールでは、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。前日では、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。

放送大学のスケジュールでは、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。前日では、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。

放送大学のスケジュールでは、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。前日では、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。

放送大学のスケジュールでは、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。前日では、オリンピック開会式の前日は単位認定試験の最終日です。

公開講演会「主観的なところ」と「客観的なところ」

講演者：放送大学埼玉学習センター客員准教授 梶原直樹 先生
 放送大学名誉学生 福田 暉

心理学における虚像と実像についての話でした。ブント（1832～1920・ドイツ）、ワトソン（1878～1958・アメリカ）、スキナー（1904～1990・アメリカ）の3人の心理学者を中心にした系列的な話でした。ブントは、心理学の父ともいわれ、初めて心理学的実験室を作り、科学的実験をやった。「意識」とは何かを問い、直接、経験によって中身を明らかにしようとした。「意識」は本人がよく分かっているからと、この考えに同感した人が多く、スタートは、順風満帆だった。心理学が「意識」の面からとらえられ、説得力があり、受け入れられた。しかし、実は問題があった。意識は二つの重要な問題があり、意識は、答えられるものと、答えられないものがある。自分のことをすべては、本当にはわかっているわけではない。

意識の内容は主観的なものと、客観的なものとに別れる。しかし、主観的な意識は科学の対象にはならず、もっと、確かなものが必要となってきた。科学の対象とするには、客観的な事実が必要になる。そこで、心理学は「意識ではなく、行動の科学である」とするワトソンの行動主義の考えがでてきた。

ワトソンは、意識の働きは私的なものであるため、意識は科学の対象ではないと、意識を切り離れたのだ。必要なものは、公で、客観的で、具体的なもので、日常的にある「行動」であるとした。行動は、体の動きに伴うもので、第三者にもわかる行動自体は一目瞭然であり、行動こそが、科学の本質であるとした。心理学の目的は「行動の予測と制御」とであると主張した。どういふことでその行動がおきるのか精神的な



概念を持ち込んではいけなかったのだ。心理学は客観的な研究方法で、観察、調査、検査をし、革命的な動きがあった。根本的なものとして意識は測れないが、行動は測れる（数値化できる）と、ワトソンは意識を棚上げした。ブントの考えと、ワトソンの考えは両極端である。そこで、スキナーは「行動とは、外界との関わりによって我々に生じる働きである。従って、行動は必ず外界・環境と関わっているから、行動の原因は、外界・環境側にある」とした。

*ブントは、心（意識）と身（行動）のうち、「心」に重点を置いた。
 *ワトソンは、心（意識）と身（行動）のうち、「身」に重点をおいた。
 *スキナーは、心（意識）と身（行動）の「心身」両方に重点をおいた。
 心理学は、心も身もブントからワトソンへ、ワトソンからスキナーへと引き継がれ、我々は、外的と内的の両方の働きがあり、その原因は、ともに内的にも外的にも左右する。それを究明することが心理学だということでした。

事務室からのお知らせ
単位認定試験
 1月21日から開始
 1月21日（火）～1月30日（木）迄、単位認定試験が行われます。試験日時等を確認し、試験時間に遅れないよう受験してください。なお、1月24日（金）は閉所となりますので、ご注意ください。

科目登録の手続き
 2020年2月13日（木）から第1学期の科目登録申請が始まります。登録申請は①郵送又は②WEB（システムWAK ABA）でできます。詳しくは、①郵送の場合2

2020年度第1学期 学生を募集
 2020年度4月入学を募集しています。出願の受付は、第1回が2月29日（土）、第2回が3月17日（火）迄です。放送大学に興味・関心のある方を、是非ご紹介ください。紹介された方が入学した（再入学を除く）場合は、薄謝を進呈。

オープン・キャンパス
 *日時 19年12月22日（日）10時～12時
 *日時 20年2月8日（土）15時15分～2時間
 *内容 概要説明、履修案内、施設見学、個別相談等（要予約）
 *個別相談は随時行っています。（要予約）

シネアド広告上映中
 JR浦和駅東口浦和パルク6Fのユナイテッドシネマにて、19年12月6日（金）～20年3月5日（木）の13週間に亘り、放映前に、学生募集のCMが15秒間上映されます。映画鑑賞の際には、是非ご確認ください。

学生手帳

「足し算思考」
 足原誠二

60歳代の頃はあまり感じなかったが、さすがに70代の後半にさしかかると、加齢による自身の衰えを痛切に感じるようになった。老いてゆく自分自身を認めざるを得ない現実、どうしても「引き算思考」となってしまう。かつては、ほとんど完璧にこなしていた自信が、いつの間にか「あれも、これも思うようにはできなくなってきたな」と考えてしまっている。こうした精神的衰えに肉体的衰えが重なって、ついには自分のマイナスだけが目立ってきて、何をすることも何となくおっくうになってしまう。

先日、町内会の夏祭りのためのテント設置・解体、夜店開催の為に60名近くの役員や協力者が集まったが、参加した人々を見ると、白髪混じりの老年者ばかりだった。しかし、「昔とった杵柄」なのか、意外とスムーズに進行して、時間的に早めに終了できた。打ち上げ会の弁当やビールを囲んで、お互いに健闘を讃え合った。

「自分一人では難しいな、できたらやりたくないな」と引つ込み思案では、ますますマイナス思考になってしまふ。むしろ「以前より上手にできる」と考えて、積極的に行動する方が心身の衰えを少しでも遅くすることができるとは思えない。自分の加齢を理由にするよりも、「まだまだできる」と自身に自信を少しづつ重ねて行くことで、次の目標の実現に向け、踏み出していけると思っている。

「『網棚のうえのリヴァイアサン』を読んで」

放送大学 客員教授 小澤基弘



「網棚のうえのリヴァイアサン」
放送大学 埼玉学習センター
鎌田伸弘 著

私は絵画を専門にしています。以前、英文学を学ぶ学徒であったことがあり、イギリスのロマン派の詩を専攻していましたが、初期は英文学者を指して「瞬間的に読み取る」ということでした。その点は絵の鑑賞と似ています。絵もイメージの間合いを読むというところが一番大事で、言葉と造形イメージとは、感得する力に個人的な得手不得手があります。私は言葉は不得手、

造形イメージの方が得手だというところに気づき、専門を更替したのです。このように私を私は正しく評することはできません。まさに単なる画家の一読の感想と読み飛ばしていただければと思います。この詩集からまず感じたこと、それは行間から立ち上る視覚的イメージが色彩を伴って生き生きと想起されていく、ということでした。「されていく」と書いたのは、そのビジョンがスピード感を持って「変容していく」と私は感じました。私は詩をじっくり読みません。一読の印象を一番大事にしています。それは絵を見る時と同じです。この一瞬の印象にまず間違いはありません。二度見をしようと、へんてこな思考が介在し始めて、目が、頭の純度が、どんどん低下します。一瞬見るか、あるいは逆に数百回読み込むか、そのどちらかだと思います。

また、私はリヴァイアサンから想起される「モーニッシュ」な怪物のイメージも大好きです。ゴジラ愛に私は溢れていますが、この詩の最後に深海底に沈んでいくイメージの終焉は、丁度私が現在描いている「ガシヤガシヤ」と題した絵巻物シリーズのエンディングそのものと重なりました。そこには不気味な青の深遠さが強烈に私には感じられました。鎌田さんの詩はかなり絵画的だと思います。私は抽象系の絵を描きますから、絵のテーマとか内容には殆ど関心がありません。色

と形の痕跡だけが私には大事です。それは詩を読むときも同じです。正直に言って詩の内容には興味がないです。言葉のつらなりを読むことで想起されるイメージの明滅が面白い。詩人の凄みはまさにそこにあると私は思います。たかだか人間一人が考え切々と表明する内容は、「傷を舐めて下さい」的に私には感じられてしまいます。そうした感性は美的ではないと私は思っています。詩人の真の力量は、言葉の選択、その組み合わせと配置進行の妙から想起される、ヴィヴィッドで摩訶不思議な視覚的ビジョン、もちろんそこには音の感覚も含まれますし、匂いや触覚性も含まれます。それら全てが渾然一体として言葉を基点にして立ち昇り、連なり、前後に侵食し、絡み合い、うごめき合いながらやがて消えていく、そういう視覚的ビジョンの世界が、私が詩に求める美質です。それが現代ドロイングを専門にしている私の芸術鑑賞の軸線です。なぜならば、私が絵を描く時もまさに同じプロセスだからです。一瞬間に想起されたイメージを描き止める、が、その直後にそれなイメージが想起される、だから、どんどん加筆修正し

イメージが積層されていく、その一番最上層が私が社会に提示する絵(イメージ)です。詩は言葉でそのプロセスの痕跡を残すことが出来るので、羨ましい限りです。絵ではそれは常に隠されます。鎌田さんの言葉の紡ぎ方のセンス、その順番の組み合わせのセンス、色彩感、そしてスピード感、強弱、疎密、それらは画家である私の感覚に入り込んできました。もしかして鎌田さんは軽く絵も描いているのでしょうか？鎌田さんの詩を読むと、詩作もいかなあと思います。こんな風に詩の中に言葉の痕跡を明確に残すことが出来る、自分の頭の中のイメージの明滅を言葉の痕跡として留めることが出来る、詩っていいものだなあ。これらの詩を逆から読むのも面白いですね。自分のイメージを減を時間軸とは逆の進行すれば、自分がまた別のもので見えてくるので、詩を讀みながら、そういうことを考えていました。書評にはなっていないかも知れませんが、ただ、鎌田さんの詩を読んで私が感じたこと、自分のやっていると重ね合わせて考えたことを率直に書かせていただきました。

わたしは今を去る約21年前の平成10(1998)年4月、放送大学に一般入学し、埼玉学習センターにおいて科目履修生から出発し、選科履修生を経て全科履修生となり、学士(教養)学位を二つ頂き、三度目の学位に挑戦し、令和元年(2019)の現在に至っている。かく言う私は、大正12年3月生まれで、あと4年過ぎれば100歳に達する超高齢者である。この私に、かくも長き期間にわたり学びの場を与えてくれた放送大学について、私が考えている魅力を伝えてみたい。

放送大学は、その名の通り放送によって社会人等に広く大学教育を受ける機会を提供するという趣旨で設立された大学である。学位取得を目的とする方は一定の課程を学習すれば、学士の資格が付与される。また近年、修士、博士を目指す大学院課程も設立され、現在はそれらの学位の取得者も出ている模様である。

「改正相続法を読む」
★パソコン12月17日
「キャッシュレス決済」
★1月8日、15日、2月5日AM器楽練習
PM合唱練習
★2月12日3学習センター合同コンサート…プラザノース

江戸時代の古文書を読む会
★12月21日(土)勉強会・忘年会
★1月4日(土)、12日、2月9日勉強会

熟年会
★勉強会11月7日「連句を楽しむ」、2月18日

「学びの場を求め」① 宇都宮 明
ちなみに放送大学の英語名は、The Open University of Japanと訳されている。私が入学した頃は、The University of the Airと訳されていた。英語名の変更は「放送」から「公開」に語義が変わった事によると言われる。思うに放送大学は、放送授業ばかりでなく各講師による講義型の面接授業、更に各学会の権威者による公開講座などもしばしば実施されており、その意味においても「Open」の方が大学名として相応しいと思われる。放送大学は、学生が自宅等において公共放送で授業を受ける事に特色がある。しかし放送大学は、ほぼ各県ごとに学習センターがあり、北海道などの広範な地域では、学習センターの出張所とも言うべきサテライトが設置されている。また学習センターには学習室、視聴覚教室、図書室、講義室が整備され、学生達は、いつでも図書室などで学習をする事が可能である。

★2月7日、14日、21日、28日(全て金曜日)
★1月10日、17日第6講義室・9時半
★2月7日、14日、21日、28日(全て金曜日)

編集後記
災害の多かった1年が暮れようとしています。新しい年が災害のない平和な1年になる事を祈念しております。来年も「学生新聞」をよろしく願っています。(冬)

生涯学習奨励賞
金剛賞・金賞受賞者
アンケート

生涯学習奨励賞金剛賞・金賞を受賞された4人の方にアンケートをお願いし、2人の方から回答を頂いた。

Q放送大学に入学したきっかけは？
高橋三夫氏(金剛賞) 会社内に学歴を重視する風潮が強く残っていたため。
樽井博氏(金賞) 技術系の教育を受け、技術系の仕事に就き、定年を迎えた。文系の視野を広めたく放送大

学に入学した。
Q一番面白かった講義
高橋II渡邊二郎先生の「現代文明と人間」生きがいはどこにあるか。
樽井II西洋政治理論の伝統、動物の科学、植物の科学、他にも多々あり。
Q記憶に残っている事
高橋II伊東光晴先生の面接授業で、部品メーカーからカーメーカーに、100円で売っているものが修理工場に来ると10倍の1000円になっているのは何故か？と質問したら、その答えは次回に…
樽井II学生に得意分野が、実はよく理解できていない事が多々

あった。自分は技術系に適している、本当に好きであった事を再認識した。
Q在学生へのアドバイス
高橋II好きな科目から気長に勉強して欲しい。
樽井II学んでいる事の周辺との関わり合いを見つめて、考察すると得る事が多いと思う。
Q今後の目標
高橋II常に新しい教養を身に付けて行きたい。
樽井II自分にとって最近の分野である「情報」科目に向き合いたい。その後、今まで学んだ学問の結びつきを俯瞰的に見つけてみたい。

俳句(つみ草)
兼題 「冬の星」
敷きつむる銀杏落葉の心字池 幸宏
方丈の白砂の波紋冬銀河 とく江
指揮棒に凍つく光一刹那 功
星冴ゆる久留米餅のもんべかな 光娥
冬の星大菅宮の板庇 十詩
焼き饅頭冬の花火の秩父かな 明美
冬麗やゴッホの薔薇の空碧く 由美
消灯の芝に大の字冬の星 順
川舟の影のくつきり冬の星 厚子
ザギトワの潤む瞳や冬の星 八重子
風花や寂まりゆく辻社 安代
寒星にフレコンバッグ無尺蔵 みさ子
《毎月第2木曜日 午後句会》

公開講演会のご案内
★12月22日(日) 「がん哲学」教育・対話 学の確立」 講師II榎野興夫 (順天堂大学名誉教授)
★2月8日(土) *詳細は1月以降、HPにて紹介。

サロンのご案内
★12月22日(日) 第3講義室・13時〜17時 絵画サロンこざわ@ドローイングとデッサン 1月12日(日) *参加費500円
★2月4日・18日・25日 実験室・13時〜17時 絵画サロンこざわ@ド

ローイングとデッサン」 講師II小澤基弘 (放送大学埼玉学習センター客員教授)
サークル案内
★1月上旬「新年会」 *詳細は後日通知
健康体操研究会
★冬の特別講習会II1月7日(火)10時半〜12時 講義室 難波明美講師 *参加費500円
★2月4日・18日・25日 W・W・M

★12月25日AM器楽練習 PMボイストレーニング、
★1月8日、15日、2月5日AM器楽練習 PM合唱練習
★2月12日3学習センター合同コンサート…プラザノース

江戸時代の古文書を読む会
★12月21日(土)勉強会・忘年会
★1月4日(土)、12日、2月9日勉強会

熟年会
★勉強会11月7日「連句を楽しむ」、2月18日

「改正相続法を読む」
★パソコン12月17日
「キャッシュレス決済」
★1月8日、15日、2月5日AM器楽練習
PM合唱練習
★2月12日3学習センター合同コンサート…プラザノース

江戸時代の古文書を読む会
★12月21日(土)勉強会・忘年会
★1月4日(土)、12日、2月9日勉強会

熟年会
★勉強会11月7日「連句を楽しむ」、2月18日

編集後記
災害の多かった1年が暮れようとしています。新しい年が災害のない平和な1年になる事を祈念しております。来年も「学生新聞」をよろしく願っています。(冬)